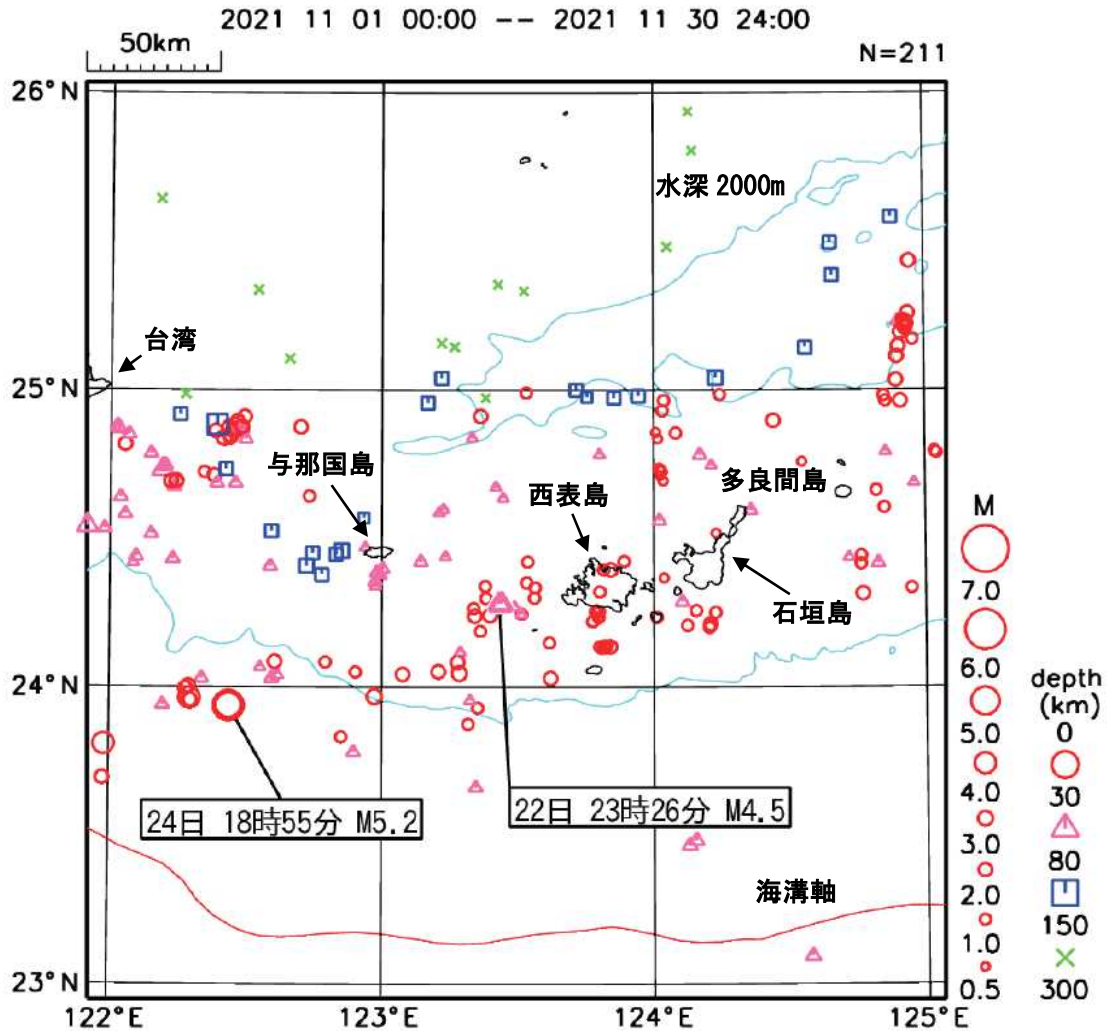


八重山地方の地震活動

令和3年(2021年)11月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、八重山地方で211回(10月は222回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は3回(10月は2回)でした。

11日00時45分に宮古島近海(宮古島の南東約160km、上掲震央分布図範囲外)で発生した地震(M6.5)により宮古島市で震度3を観測したほか、鹿児島県奄美大島から与那国島にかけて震度2~1を観測しました(別紙参照)。

22日23時26分に西表島付近(西表島の西約45km)で発生した地震(M4.5、深さ45km)により西表島から与那国島にかけて震度1を観測しました。

24日18時55分に与那国島近海(与那国島の南西約80km)で発生した地震(M5.2、深さ22km)により与那国島で震度2~1を観測しました。

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：11月1日～30日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2021年11月11日00時45分 沖縄県	宮古島近海	23°43.9' N	126°22.0' E	115km	M6.5
震度 3：宮古島市城辺福北, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市上野支所*					
震度 2：座間味村座間味*, 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉*, 多良間村塩川, 多良間村仲筋*, 宮古島市平良下里, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地島空港*, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 石垣市美崎町*, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間					
震度 1：名護市豊原, 名護市港*, 国頭村辺土名*, 恩納村恩納*, 宜野座村宜野座*, 粟国村浜, 那覇市港町*, 沖縄市美里*, 西原町与那城*, 渡名喜村渡名喜*, うるま市みどり町*, 南城市玉城字玉城, 南城市知念久手堅*, 南城市佐敷字佐敷*, 久米島町山城, 久米島町仲泊*, 石垣市登野城, 石垣市新川, 石垣市伊原間*, 与那国町久部良, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*					
鹿児島県	震度 1：奄美市名瀬港町, 伊仙町伊仙*				
2021年11月22日23時26分 沖縄県	西表島付近	24°16.7' N	123°26.1' E	45km	M4.5
震度 1：与那国町祖納, 与那国町久部良, 竹富町大原, 竹富町上原小学校, 竹富町上原青年会館*					
2021年11月24日18時55分 沖縄県	与那国島近海	23°56.2' N	122°26.3' E	22km	M5.2
震度 2：与那国町役場*					
震度 1：与那国町祖納, 与那国町久部良					

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※八重山地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

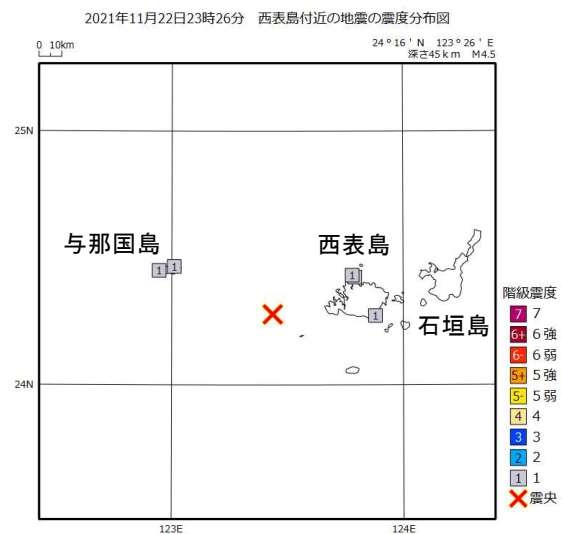
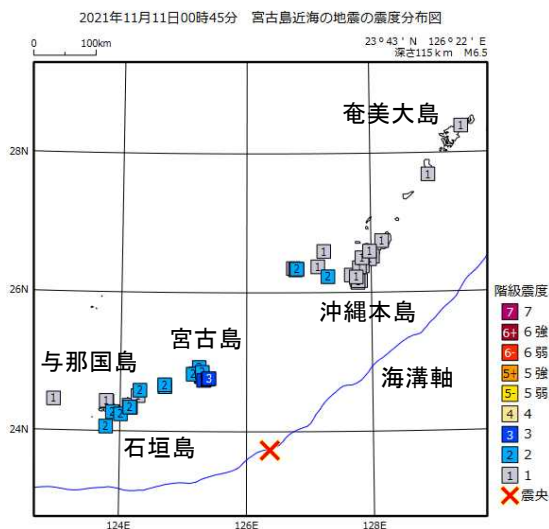
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米田大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

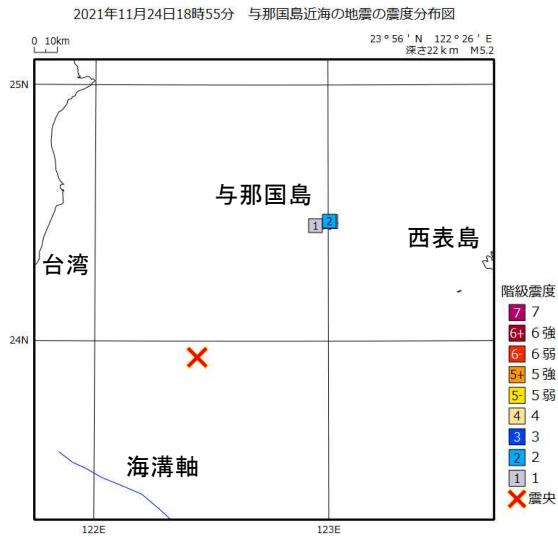
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

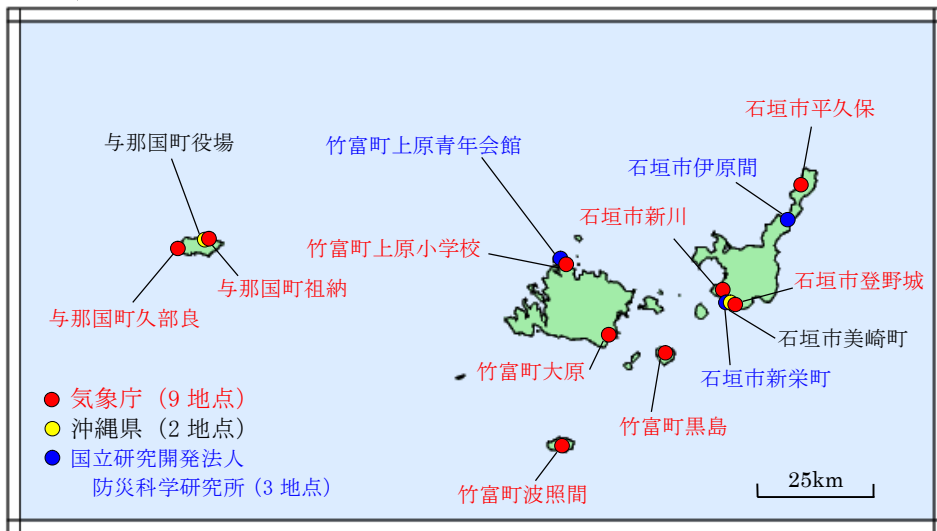
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図





八重山地方の震度観測地点



過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL <https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>

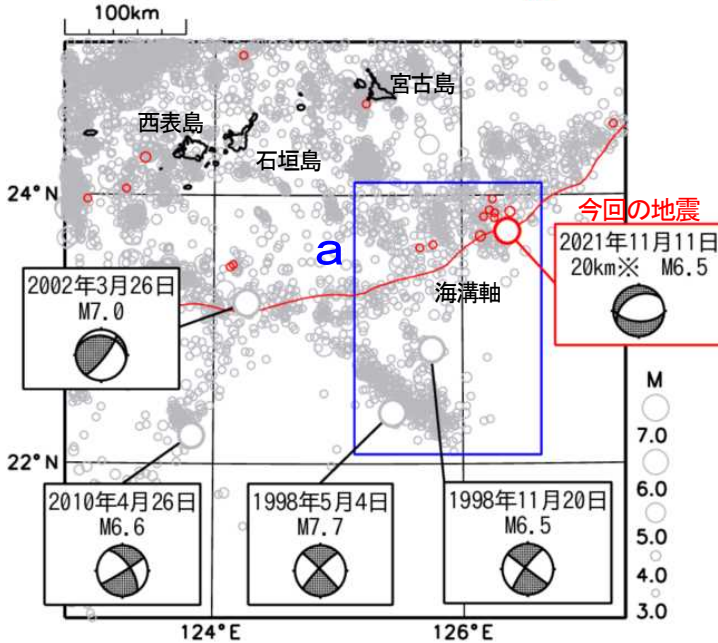
本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

11月11日 宮古島近海の地震

情報発表に用いた震央地名は〔沖縄本島南方沖〕です。

震央分布図

(1998年1月1日～2021年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2021年11月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



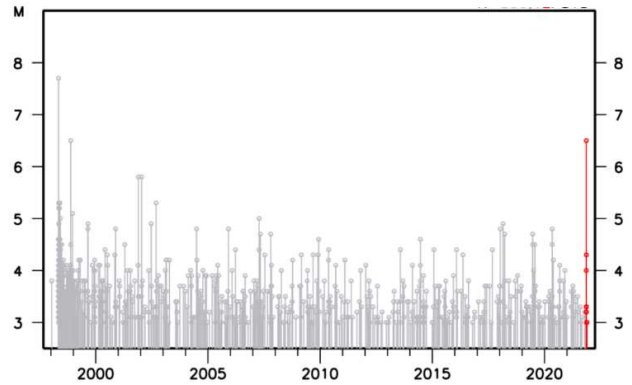
※今回の地震の深さはCMT解による

2021年11月11日00時45分頃に宮古島近海の深さ20km※（気象庁CMT解による）でM6.5の地震（最大震度3）が発生しました。この地震は、発震機構（CMT解）が南北方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

1998年1月以降の活動をみると、この地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が3回発生しており、このうち、1998年5月4日のM7.7の地震（最大震度3）では、那覇、与那国島久部良で微弱の津波を観測しました。

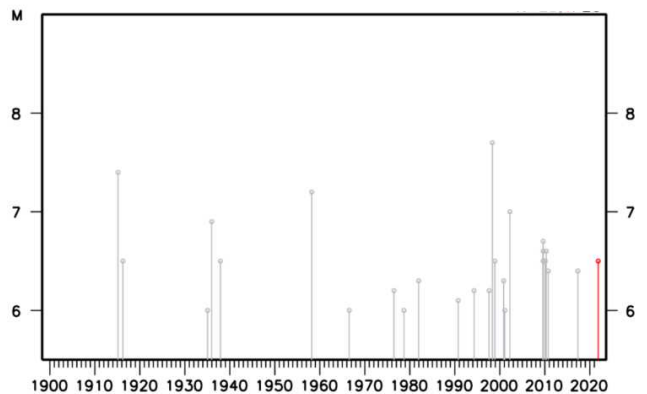
※気象庁CMT解と地震一覧の深さは、計算手法が異なるため違いが出ることがあります。

領域a内のM-T図



1900年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が4回発生しています。このうち、2002年3月26日に発生したM7.0の地震（最大震度1）では、与那国島久部良で6cmの津波を観測しました。

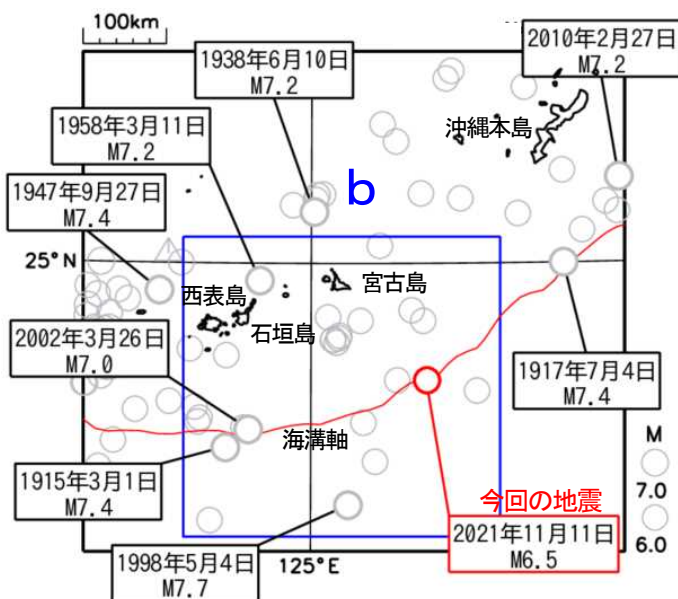
領域b内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）

震央分布図

(1900年1月1日～2021年11月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
2021年11月の地震を赤く表示



（震源要素は、1900年～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982, 1985）による※

※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401～463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639～642。

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。